

令和6年度 第2回天王寺区教育会議（会議要旨）

日 時：令和7年2月14日（金）18時30分～19時50分

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：[学校協議会]

西島委員（五条幼）、友田委員（真田山幼）、小寺委員（大江幼）

[区政会議子育て・教育班]

大野委員、岡崎委員、栗谷委員、平嶋委員、山田委員、吉田委員

[学校]山西校長（桃陽小）、神田校長（夕陽丘中）、厚地園長（真田山幼）

[区役所]末村区担当教育次長、松永区教育担当部長、原田区教育担当課長、

寺戸区教育担当課長、近藤区教育担当課長代理、草川区教育担当課長代理

傍聴者、報道関係者：なし

○天王寺区の教育に関する取組、教育会議の在り方について説明

資料「天王寺区の教育に関する取組について」

「令和6年度第1回 天王寺区教育会議で聴取したご意見について」

「天王寺区教育会議の概要」

○委員意見交換及び回答

- ・学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）、社会教育関連の取組について
- ・教育会議の在り方について

【学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）について】

校長経営戦略支援予算事業

- ・学校連携による人材育成事業の小学校体験交流会とはどのようなものか。

→天王寺動物園のご協力のもと、小学校5年生が中学校下ごとに、飼育員による講話や、クイズラリーを体験。他の学校と班になって、感想や学んだことを話し合いながら交流した。

こどもサポートネット事業

- ・地域の民生委員として、以前は不登校のお子さんのためにサポートしていたが、最近は個人情報との兼ね合いもあり、なかなか情報にたどりつけない。地域にも個人情報を遵守しながら支援できる人材がいるので、活用してほしい。
- ・困りごとが出てきた際どこに相談すればいいのか、そして相談があった後どのようにつながっていくのかが見えにくいので、事業の流れを分かりやすくしてほしい。

スクールカウンセラー事業

- ・相談実績のうち不登校児童・生徒はどれくらいいるのか。

→子と保護者 両者の相談に応じている。相談内容については個人情報との兼ね合いもあり、同意を得た件のみ共有されるため、全てを把握していない。

→30日以上欠席の生徒を不登校とすると、おおよそ1割未満である。小学校と同様にすべてを把握することは困難である。

- ・学校生活の中で、子どもたちが中心となって取り組めるような目的があれば、学校に通学する意欲を生み出すことができると考える。子どもたち主体で動くことができる体制づくりが必要。
- ・学校で社会生活を送ることが難しい子どももいる。そういった子どものためにも、子どもの居場所を作ってほしい。

学校図書館の活用

- ・子どものために書かれた本に子どもが触れるというのは、教育上とても重要である。物を大切にする、借りたものをもとに戻すという意識も育むことができる。

校園等における外国語サポーター導入による支援

- ・増加する外国籍児童生徒について、学校の先生方をいかに支援するかが非常に重要。学校現場の負担が増しているのではないかと危惧している。実情どれほどの影響がでているのか。

→文化の違いによるトラブルも生じることがある。

→幼稚園の場合、途中入園のケースが多い。子どもは生活や遊びの中で比較的スムーズに日本語を習得していくが、保護者の対応に苦慮することが多い。教育委員会からの通訳派遣もないため、当事業に助けられている。

- ・外国籍の方の転入は今後も続くと思うので、大きな課題として取り上げてほしい。通学する学校へサポーターを派遣するのではなく、言語支援が必要な児童生徒をある程度集め、そこでサポートする事例があると聞いた。そのような動きも今後必要だと考える。

【社会教育関連の取組について】

小学生多文化理解事業

- ・外国語サポーターの派遣状況からも、外国籍児童の増加が見受けられる。より多くの学校で実施すべき。
- ・例えばインターナショナルスクールに通う同年代の外国籍の子どもたちと、成長段階で直接交流することにより、文化の違いがあっても抵抗感なく接することができると思う。

天王寺区ジュニアクラブ事業

- ・今年度中止になった防災学習は、今後代わりに開催する予定はあるのか。
→防災学習は会員希望も多いので、次年度実施予定である。
- ・災害時は自助共助の心掛けが重要。家庭内で子どもからご家族に災害について話してもらい、自助共助の意識を促すことができればよいと考える。
- ・未来の地域の担い手を育てるという、天王寺区ジュニアクラブ設立当初の趣旨を踏まえた活動に取り組むべき。継続的に地域の横のつながりを作っていってほしい。
- ・保護者として活動の様子を見てみると、用意されたカリキュラムを体験してチームの会員と積極的に関わることもあまりない状態であった。もっと知識欲を刺激する活動をすべきと考える。

【教育会議の在り方について】

- ・ほとんどの保護者は校長と話をする機会がないので、PTA 会長に限らず、保護者代表の方とも意見交換できる場になれば良いと考える。